

## 特記仕様書

### 「施工に伴う共通関連事項について」

#### ① 「用地・補償関係」

- ・受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し監督員に報告するものとする。
- ・事前に家屋調査が完了している物件については、調査資料を監督員から徴収し確認後、工事着手するものとする。
- ・官民及び民民の境界を示すもの(杭、鋺、プレート等)が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。
- ・工事により境界杭等が破損や亡失した場合は、工事完了後に復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。

#### ② 「安全対策関係」

- ・工事施工箇所において通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。
  - ・資機材の搬入出と通行時間は適切な時間帯に行い、近隣住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。
  - ・地山掘削、床掘時は既設構造物に損傷が出ないように適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。
  - ・図示してある掘削、床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。
  - ・工事の施工に伴って工事車両の出入り口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、必要に応じて交通誘導警備員を配置できるものとする。なお配置については、監督員の承認を得るものとする。
  - ・交通誘導警備員に一日毎の工事内容を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。
  - ・工事の施工においては工期が夏季期間を含むため、「浜松市熱中症対策行動指針」に基づき、作業中の熱中症対策に留意するものとする。また、受注者は熱中症対策について現場管理費補正を希望される場合には、受注者は発注者と協議し承諾を得るものとする。
- なお、それに伴っては市が公表している「熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試

行要領」によるものとする。

③ 「環境対策関係」

- ・現場施工及び現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。
- ・土粒子を多量に含み排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂池又はろ過施設を通して放流するものとする。

④ 「安全協議会関係」

- ・本工事においては、土砂や資材等の運搬車両の往来が多くなることが予想され、地区内で既に着手している他工事車両との接触事故、道路の損傷や汚濁、通行車両による粉塵等の発生が危惧されるため、当該工事が着手する前の段階において現在、施工している同地区内の施工業者を招集させ、受注者が協議会の長となり安全協議会の発足を行うものとする。なお、発足後においては、活動内容や各種取決め事項及び週一回程度の全体工程会議を行い、地区内の円滑な工事進捗を諮るものとする。また、監督員へ会議内容の報告及び会議への同席を求めることとする。

⑤ 「工事監理連絡会関係」

- ・本工事については、工事監理連絡会を実施するものとする。なお、工事監理連絡会の実施については、浜松市土木工事「工事監理連絡会」実施要領によるものとする。受注者は、工事監理連絡会に要した打合せ費用については、工事監理連絡会開催後、速やかに設計者に支払うものとする。

以上